

Global Competition Review 誌の Rating Enforcement (格付け)

競争法・競争政策の専門誌の Global Competition Review 誌（英国ロンドン）は、2000 年以降、毎年、各国競争当局の格付け（注 1）を実施しており、本年 6 月号において、本年の主要な競争当局の格付けを公表した。公正取引委員会は、5 点満点中 4.5 点、パフォーマンス（注 2）は「↔」と評価されている。各国競争当局の格付け一覧は以下のとおり。

評価	当局名及びパフォーマンス
5.0	EU 競争総局 (↔), フランス競争委員会 (↔), ドイツ連邦カルテル庁 (↔), 米国司法省 (↔), 米国連邦取引委員会 (↔)
4.5	日本公正取引委員会 (↔), 英国競争委員会 (↓)
4.0	オーストラリア競争・消費者委員会 (↔), ブラジル経済擁護行政委員会 (↔), 韓国公正取引委員会 (↑), スペイン競争委員会 (↑), 英国公正取引庁 (↑)
3.5	カナダ競争局 (↓), イタリア競争・市場保護委員会 (↔), ニュージーランド商務委員会 (↓), オランダ競争庁 (↓), ノルウェー競争局 (↑)
3.0	オーストリア連邦競争庁 (↑), フィンランド競争庁 (↔), ギリシャ競争委員会 (↑), ハンガリー競争委員会 (↑), アイルランド競争委員会 (↔), イスラエル取引制限庁 (↔), メキシコ連邦競争委員会 (↑), ポーランド競争・消費者保護庁 (↔), ポルトガル競争庁 (↔), ロシア連邦反独占局 (↑), 南アフリカ競争委員会 (↔), スウェーデン競争庁 (↔), スイス連邦競争委員会 (↔)
2.5	ベルギー競争当局(経済省競争局, 競争評議会) (↑), チリ国家経済検察庁 (↔), チェコ競争保護庁 (↓), デンマーク競争評議会 (↔), パキスタン競争委員会 (↔), トルコ競争庁 (↑)
2.0	リトアニア競争委員会 (↔)

(注 1) 過去 1 年間の各競争当局の成果について、競争当局から提供された情報や日常的に競争当局と関係のある専門家（競争法弁護士、社内弁護士、エコノミスト及び学者）の意見に基づき、GCR 誌が各競争当局間の相対評価として格付けしたもの。

(注 2) 各競争当局のリソースや実務家の当該競争当局に対する期待をベースとして、当該競争当局がどのような成果を上げたかを評価したもの。リソースを十分に活用し、大きな成果を上げたと評価された機関には「↑」、期待と同程度だった場合は「↔」、期待外れと評価された機関には「↓」が付けられている。

(注 3) 昨年から格付けが引き上げられた当局を網掛け、引き下げられた当局を斜体としている。

〔参考〕過去の公正取引委員会に対する評価

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
格付	3.50	3.75	3.0	3.0	3.25	3.5	3.5 (↑)	3.5 (↑)	3.5 (↑)	4.0 (↑)	4.5 (↑)	4.5 (↔)